



【Pem-mab+CBDCA+GEM療法について】
(キイトルーダ+カルボプラチン+ゲムシタビン)



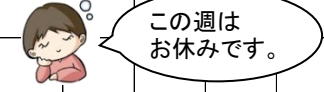
様



コース目

😊 **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
			6/17	6/18	6/19	6/20	6/21	6/22	6/23	6/24	6/25	6/26	6/27	6/28	6/29	6/30	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6	7/7	7/8
キイトルーダ注	200 mg/Body	抗がん剤です	30分	☺																				☺
アロキシパッグ デキサート注	6.6 mg力価	吐き気止めです	30分	☺						☺														☺
ゲムシタビン注	1000 mg/m ²	抗がん剤です	30分	☺						☺														☺
カルボプラチン注	2 AUC	抗がん剤です	60分	☺						☺														☺



😊 **治療による副作用**

注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目	
		6/17	6/18	6/19	6/20	6/21	6/22	6/23	6/24	6/25	6/26	6/27	6/28	6/29	6/30	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6	7/7	7/8	
自覚症状	発熱																							
		悪寒、発熱があるときはお知らせください。																						
	食欲不振・吐き気																							
		食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																						
	血管痛・静脈炎																							
		点滴の途中に、注射部分やその周りに違和感や痛みなどがあればお知らせください。																						
口内炎																								
	口の中が荒れて痛みが出ることがあります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかりと行いましょう。																							
脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																								
	髪質が少し変わることもあります。治療後半年程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																							
便秘																								
	水分を多めに摂りましょう。続く場合はお薬で調節して下さい。																							
検査値	白血球減少																							
		感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																						
	赤血球減少(貧血)																							
		貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																						
血小板減少																								
	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																							
肝機能低下																								
	体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなる可能性があります。																							
発症時期不明	間質性肺炎	息苦しい、咳が増えた、37.5℃以上の発熱																						
	下痢 大腸炎	便の回数が多くなったり強い腹痛をとまったり、水の様な便が出る時はお知らせ下さい。																						
	内分泌障害	体がだるい 食欲が落ちる 吐き気																						
	皮膚症状	発疹、かゆみなど																						
	静脈血栓症	むくみや腫れ																						
	重症筋無力症	まぶたが下がってくる 物が二重に見える 筋肉痛がある																						
神経症状	手足のしびれが 力が入りにくい																							
I型糖尿病	のどがひどく乾く 水を多く飲む 尿量が増える																							



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

38度以上の熱や空咳がでたら当院に連絡してください

0898-23-2000

真泉会 今治第一病院 薬剤部